

1. A農園（弓浜地区、砂畑）

作型	春ねぎ(a)	夏ねぎ(a)	秋冬ねぎ(a)	合計 (a)
経営規模 (R4)	51	83	60	194
主要品種	龍ひかり、龍まさり、初夏一文字、大地の響き、関羽一本太 等			

労働力	合計	4人		内訳	男性	2人		女性	2人	
		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上			
		人	人	3人	人	人	1人			
作業時間	男性：午前6時～正午、女性：午前8時もしくは午前8時30分～正午 休憩時間：10時～10時20分（収穫・コモ搬入は前日の午後が基本）									
出荷日量※1	117 箱/日									
作業効率※1	6.0 箱/人/時									
規格別出荷割合	2L	L	L4	M	A	優	3L			
(%) ※1	69.3	18.8	2.5	0.9	0.6	0.0	7.8			

作業項目	使用機材	作業スピード※2	作業環境※2	
			照度 (Lx)	騒音(dB)
根切り	包丁、はさみ	1,674 本/人/時	400	64
葉切り	葉切り専用規格箱、包丁、コンテナ	2,880 本/人/時		
皮はぎ	ねぎっこ	947 本/人/時	606	92
結束 2L	ねぎらいー1（手動）3台	514 束/人/時	1,233	68
L		400 束/人/時		
箱作り	—	— 箱/人/時	340	—

※1 R5.11.23～11.29の出荷実績より ※2 R3.10.15及びR5.11.29に調査実施

●主な優良ポイント●

1. 作業場のレイアウト

- ・作業導線が一方であり、交差がなく、余計な障害物もないため動作の無駄が少ない。
- ・コモや出荷箱は当日の出荷予定全量を置ける作りとなっており、運搬等の作業の無駄が無い。
- ・出入口を2か所設置することで、搬入と出荷がスムーズに行える。

2. 各作業の能率を上げる工夫

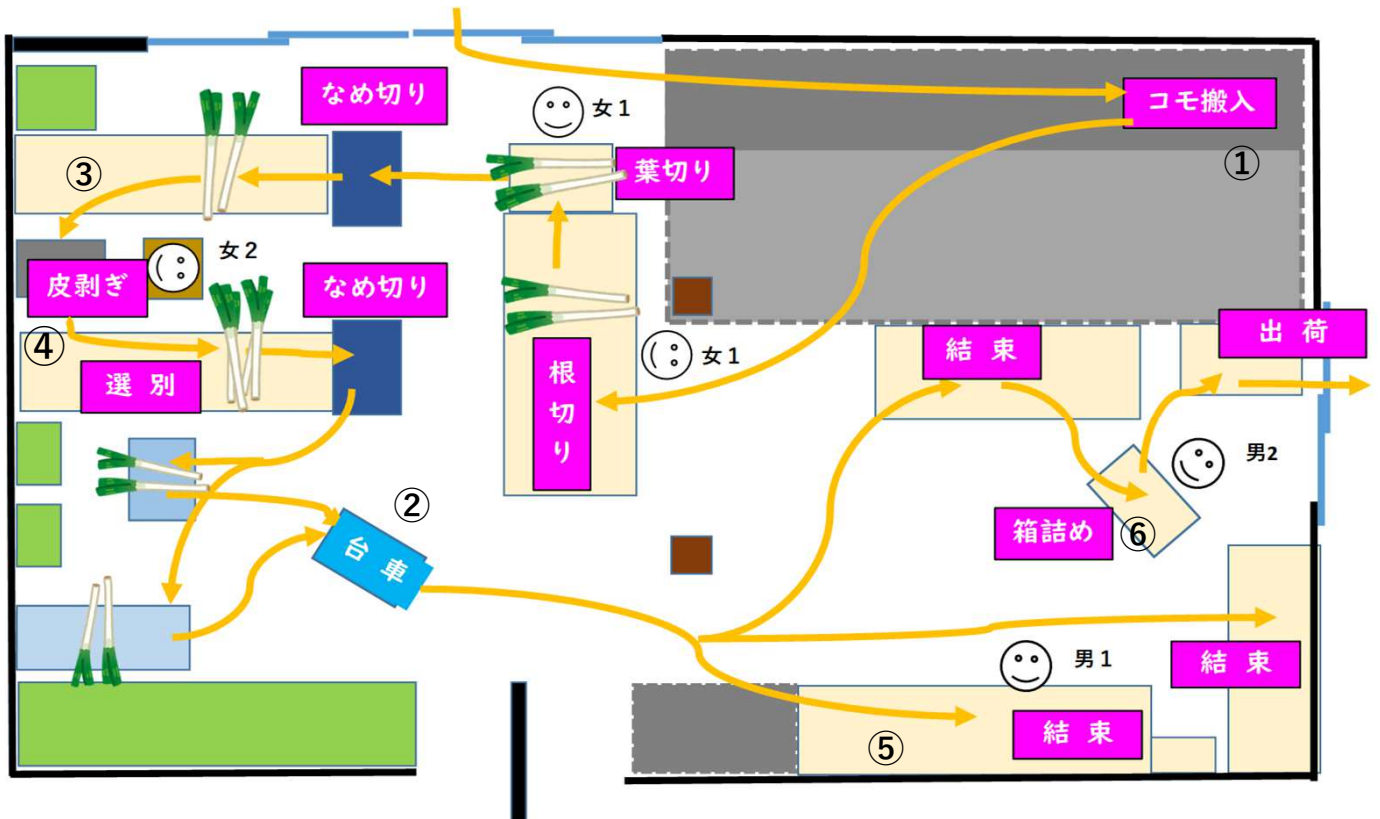
- ・調製作業は時間内で作業が完了できるよう、作業の分担・補助を行っている。
- ・ゴミ箱を手が届く範囲に複数配置し、すぐに片付けることで清掃時間を短縮している。
- ・ほ場での収穫時に丁寧な下処理（外葉除去）を行うことで皮はぎ作業の効率化を図っている。
- ・皮はぎ作業者を固定し、残渣処理を他の人が行うことで、作業に集中できるようにしている。
- ・2L、L規格率が高いため、選別・結束が容易となり、結束作業の効率化に繋がっている。

3. 身体への負担軽減対策

- ・大きな窓が設置され自然光が入る構造となっており明るい。
 - ・休憩室があり、休憩時間を設けている。
 - ・運搬時の腰への負担を軽くするため、コモ置場の段差を少なくしたり、台車利用をしている。
- また、作業者の腰の高さに合わせて各作業台の高さを80～90cmに統一している。

●作業場レイアウト図及び工夫箇所●

★作業場面積 約49㎡ (5.4m×9.1m) ★付帯設備：トイレ・シャワールーム・休憩室・エアコン



①コモ置場に台を設置

コモ持ち上げ時の中腰作業の軽減に繋がる。(最大60コモ保管可)



②重量物運搬は台車を利用

台車の底をさらに上げる工夫を加えることで、腰への負担軽減に繋がる。



③皮はぎ作業台の傾斜

傾斜をつけることで、白ねぎが取りやすく、置きやすい。



④皮はぎ残渣専用ダクト

網ダクトをワンタッチで取り外し、交換はボックスごと行う。皮はぎ作業中でも片付けが可能。



⑤結束作業台の有効活用

積み重ね可能なコンテナボックスを利用して、作業空間を有効活用。



⑥箱詰め作業台の工夫

作業者の手前にテープを配置することで、封詰め作業がしやすくなる。